

しちかしゆくまち ゆのはら
七ヶ宿町湯原集落

雪かき応援隊「スノーバスターズ」を実施しました

平成31年2月9日(土)、七ヶ宿町湯原集落で雪かきをお手伝いする「スノーバスターズ」が開催されました。この活動は、もともと湯原集落の自治会や地区内の有志で行っていたもので、昨年度から、地区外からもボランティアを募集し実施しています。

当日は、県内外の会社員や大学生等、35人に参加いただき、湯原集落内の高齢者世帯を中心に、12軒の住宅の周りの除雪を行いました。



地域の方々にコツを教わりながら、屋根の上から軒下まで、雪かき作業を手伝いました。湯原地区は県内有数の豪雪地帯であり、多いときには屋根につもった雪と軒下の雪が繋がり、外からの光を遮ってしまうこともあるそうです。



湯原自治会 山田会長



親子で参加する方も！





作業の後は、みんなで昼食をとりました。

昼食は、七ヶ宿町内の直売所「旬の市」に注文したお弁当。七ヶ宿町の雪室じゃがいもを使ったコロッケ等、町内産のおいしい食材が詰まっていました。

その他、地区のお母さん方手作りの豚汁も参加者に振る舞われました。

農家の皆さん、調理を手伝っていただいた方々、ごちそうさまでした！

最後は、
全員で記念撮影！

こうした地域外からの支援は、作業の人手確保だけでなく、地域内外との交流という意味でも、地域内の活性化につながる貴重な支援になっています。

今回の参加を機に、七ヶ宿町湯原地区の人や自然、農産物に関心を持っていただき、また足を運んでいただければ幸いです。



参加していただいた皆様、ありがとうございました。



*この活動は、宮城県の「農山村集落体制づくり支援事業」の一環として行っているものです。宮城県ではこれからも農村集落や中山間地域の持続的発展を支援して参ります。

「農山村集落体制づくり支援事業」とは

宮城県では、平成25年から平成28年までの4年間、中山間地域等の農作業を支援する「集落支援事業」として、大河原管内の七ヶ宿町干蒲、丸森町筆甫、丸森町耕野の3地区で援農ボランティア活動の支援を行ってきました。これまでの参加者は、4年間で延べ約600人となり、各地域では、この活動を通じて特産品の生産継続や、東日本大震災による風評被害の払拭に取り組んできました。

そして、平成29年度からは「農山村集落体制づくり支援事業」として支援対象を宮城県内全域に拡大し、中山間地域に限らず、農山村集落の活性化に向けて支援を行っています。